

「TENGA川柳」受賞作を公開！ 最優秀賞作は「母パート 弟デート 俺テング」

～応募総数3887句の中から13句を選出～

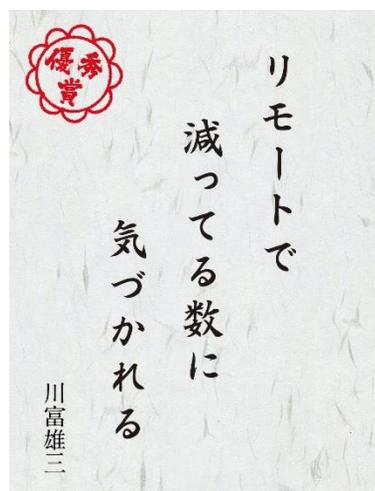
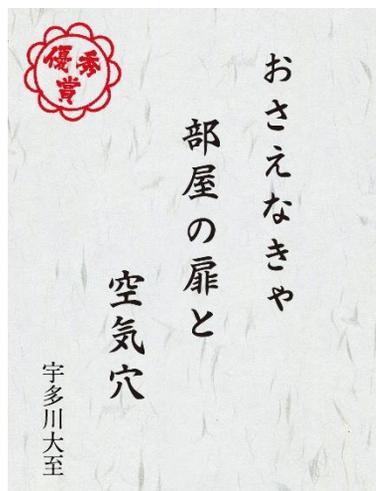
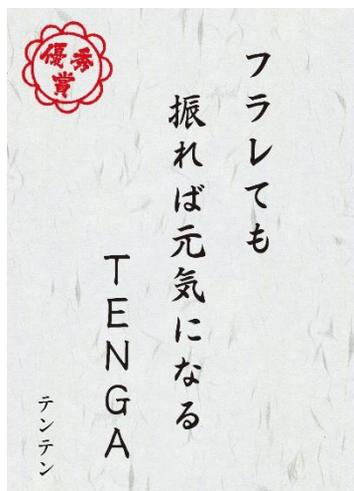
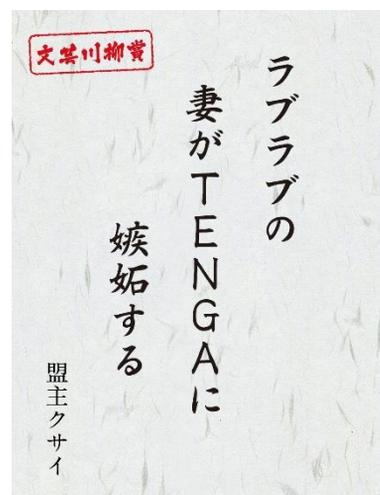
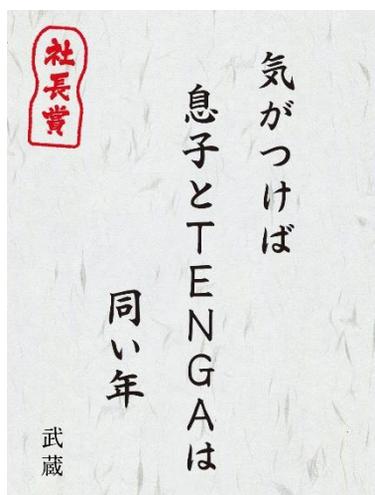
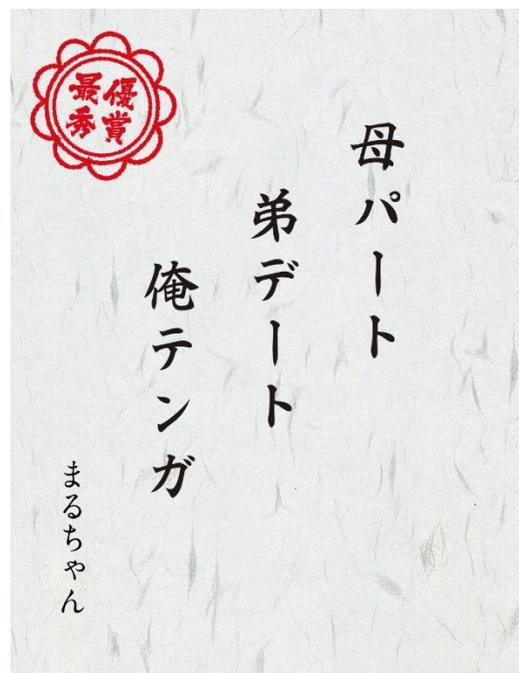
株式会社TENGGA(東京都港区/代表取締役社長 松本光一)は、発売15周年を記念して「TENGA川柳」を募集し、2020年11月11日(水)に応募総数3887句の中から選ばれた優秀作品を公開いたしました。

選考委員として、全日本川柳協会副理事長の江畑哲男氏にもご参加いただき、川柳文芸賞の選定と総評をいただきました。入賞作品はTENGAブランドサイトのキャンペーンページで公開するとともに、11月13日(金)より、常設店であるTENGA STORE TOKYO(東京都千代田区/阪急メンズ東京内6階)にて展示いたします。

キャンペーンページ：https://www.tenga.co.jp/campaign/15th_senryu_kekka/

受賞作品

入賞作品全13句のうち、7句をこちらでご紹介させていただきます。



エロスの世界と川柳

ブツチャケ、「ケシカラン川柳」が多かった!(笑)。川柳の全国組織を預かる立場から申せば、そういう一言になる。

しかしながら、川柳に興味を示していただいたこと。応募数が四〇〇〇句近くに上ったこと。この二点には大いに敬意を表したい。とにもかくにも、五七五の世界と接点を持っていただいたことに感謝・感謝。

ひるがえって考えれば、「ケシカラン川柳」は昔から存在した。「末摘花(すえつむはな)」と呼ばれる川柳群をご存知だろうか? 「恋の句」と言えばお上品だが、ズバリ「下半身の世界、性愛の世界」をテーマにした川柳のことだ。時の江戸幕府から弾圧されたことさえある。詳しく解説する紙数はないが、左記のような傑作も存在する。

その手代 その下女 昼はもの言わず

(デキている二人。昼は他人のフリ。江戸時代版オフィスラブ。)

下にしてくれなと女房せつながら

(騎乗位を詠んだ句。「せつながら」に絶妙のリアリティあり。)

さて、今回。主催者が記念事業に際して募集をかけ、主催者自身が別掲の入選作品群を選んだ。川柳の専門的立場からも、別途「文芸川柳賞」を選ばせていただいた。入選者の皆さん、おめでとうございます。

もしかしたら、末摘花の世界から見れば「まだまだ甘い」「修行が足りぬ」(笑)と評されるかも知れぬ。だが、コレも一里塚だ。TENGA川柳の今後の発展ともう一段の飛躍を期待して、総評に代えさせていただこう。

ガンバレ!! TENGA!

江畑 哲男(全日本川柳協会副理事長)

江畑 哲男(えばた・てつお) 略歴

昭和27年12月生まれ。東京都足立区で育つ。

昭和50年3月 早稲田大学教育学部国語国文科卒

昭和50年4月～ 千葉県内高校の国語教師として奉職(教壇生活44年)

現在、麗澤大学オープンカレッジ講師、ほか。

【主な肩書】

(一般社団法人)全日本川柳協会副理事長、東葛川柳会代表、日本文藝家協会会員、讀賣新聞千葉県版川柳欄選者、ほか。

【主な著書】

『川柳句文集 ぐりんていー』(教育出版社、H12)、『アイらぶ日本語』(学事出版、H23)『近くて近い台湾と日本』(新葉館出版、H26)、『よい句をつくるための川柳文法力』(新葉館出版、H29)、『旅の日川柳』(飯塚書店、H31)、『川柳句文集 熱血教師』(新葉館出版、R1)、など。

キャンペーン概要

■応募期間：2020年8月25日(火)~2020年9月22日(火・祝)

■応募総数：3887句

■応募方法：以下のいずれか

①ツイッターから「#TENGA川柳」で川柳を投稿

②TENGAブランドサイトの応募フォームに記入

■応募条件

・国内在住の18歳以上の方(高校生不可)

・五・七・五の17音定型詩であること

・「TENGA」にちなんだオリジナルの作品であること

画像は右記URLよりダウンロードをお願い致します。<https://tinyurl.com/y2b2gfmk>

【本件に関するお問い合わせ】 ●担当：西野 (nishino@tenga.co.jp) ●TEL：03-5418-5590

●株式会社TENGAコーポレートサイト：<https://tenga-group.com/>